

校訓:自主・協同・創造

学校通信 NO.2 令和5年 4月28日

「温かさ」を生む言葉を大切に

温かい言葉と、冷たい言葉。明るい気持ちになる言葉と、暗い気持ちになる言葉。 人を喜ばせる言葉と、人を悲しませる言葉。安心をもたらす言葉と、不安を生む言葉。 人を勇気づける言葉と、人を落胆させる言葉・・・・・。

この他にもさまざまな言葉がありますが、相手に対する感謝や思いやりの気持ちに 根差した温かい言葉をかけたとき、自分の中にも相手の中にも、温かい思いが生まれ てきます。日頃から温かい気持ちを育んで、自分に対しても周囲の人に対しても良い 影響を与える言葉がけを、積極的にしていきたいものです。

私たち一人ひとりが、そのことを意識して、温かい言葉を交わすように心がけていけば、和やかに過ごせる学校生活や安心して過ごせる家庭生活となるでしょう。

言葉には、相手の心やその場の雰囲気を温かいものにする力があり、身近な人との間でこそ言葉がけを意識していくことが大切です。初対面の相手やこれから親しくなっていこうとする相手に温かい言葉がけをするのは、言うまでもありませんが、家庭や学校など、日常生活での親しい人に対しては「照れくさい」「言わなくてもわかってくれる」など、伝える努力を怠ると誤解を生んでしまいます。言葉は大切であるからこそ、プラスの思いを、誰に対しても表現していくことです。

思いやりにあふれ

何事にも主体的に挑戦し 創造できる 生徒の育成

今年度の学校教育目標です。この目標のもと、先生方や保護者のみなさん、地域のみなさんと一緒に取り組んでいきます。

- ① 前向きに取り組み、責任を持ってやり遂げる。
- ② 人を大切にし、共に力を合わせて取り組む。
- ③ 困難に立ち向かい、挑戦する。

-8:

そんな生徒であって欲しいと願っています。

校 長 高森 伸彦

令和5年度の始まり

新しい学年・クラス、気持ちも新たに新年度がスタートしました。それぞれの目標 達成に向け、実りある1年にしていきましょう。



朝の朗読(春よ、来い) 全国学力学習状況調査(話すこと)

体育大会 合同練習